



## 居住者が重視する住宅性能のベスト3は「構造の安定」「空気環境」「劣化の軽減」

国土交通省が住宅性能表示制度の利用者に対して行った、同制度の認知状況や性能表示項目の重視・満足度等についてのアンケートの結果報告が発表されました。(※1)

●評価項目では、『構造の安定に関すること』(76.0%)が最も重視度が高く、次いで『空気環境に関すること』となっており、「重視した」(45.4%)と「やや重視した」(35.3%)を合わせると、全体の8割以上の人がかさねて健康的な空気の重要性を感じていることがわかります。

(※2) (図1参照)

●さらに、室内化学物質濃度の測定について、測定していない世帯のうち約2割が「自己負担でも測定したい」と回答しており、シックハウスに対する強い不安が感じられます。

(※3) (図2参照)

(※1) アンケートの対象は、同制度が開始された平成12年10月から平成13年12月末までに建設住宅性能評価を受けた住宅に平成14年3月までに入居した居住者のうちの712件。

(※2) 図中の構成比に関する数字は小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位を有効数字としているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(※3) 室内空気中の化学物質の濃度等を測定し表示する項目が追加されたのは平成13年8月以降。測定は選択項目で、必須ではありません。(編集部注)

「平成13年度住宅市場動向調査(住宅性能評価アンケート)結果について」(国土交通省)

図1:現在の住宅を建築または購入した際の性能表示項目の重要度

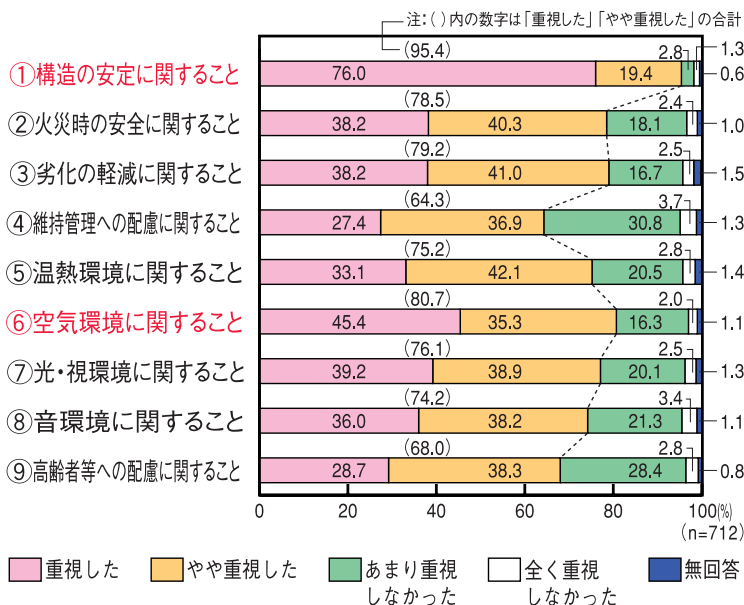
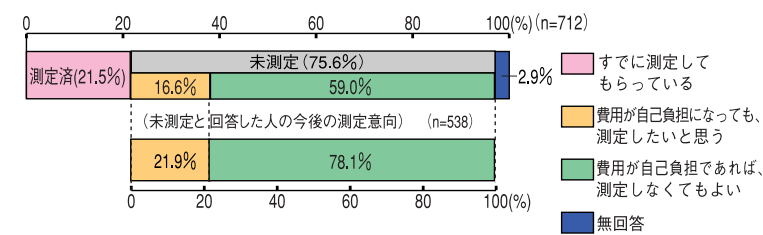


図2:室内化学物質濃度の測定有無・今後の測定意向



## くうきのはなし

### 「おいしい・快適な空気」のお値段は1ヵ月2,125円

「空気と安全にお金がかからない国・日本」は今や昔の話。「おいしい・快適な空気」が1ヵ月間得られるとしたら、いくら位のお金を出してもよいと思うかという質問に対する平均金額は2,125円。年間では25,500円になり、空気に対してもかなりの出費をやむをえないとすることが分かります。なお、気になる空気の汚れは、大気汚染、車などの排気ガス、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、春先などの花粉がワースト4でした。

詳しくはダイキンホームページをご覧ください。  
<http://www.daikin.co.jp>

